

新潟国 2018年度

留学報告書

ロシア ウラジオストク国立経済大学

際情報大学 国際文化学科

学籍番号 21017054

後藤由佳

目次

| | |
|------------------|---------|
| 1. 留学期間及び留学先について | 3 P |
| 2. 留学先概要 | 3 P |
| 3. 留学の目的 | 3 P |
| 4. 留学内容 | 3 - 5 P |
| ① 授業のスケジュールと詳細 | 3 - 4 P |
| ② 留学先での主要なイベント | 5 P |
| 5. 留学目的の達成度 | 5 P |
| 6. 留学の反省点 | 6 P |

謝辞 6 P

付録 6 - 8 P

1. 留学先及び期間

留学先：ウラジオストク国立経済大学

留学期間：8月28日～12月27日

2. 留学先概要

1967年に開学、ウラジオストク市内に位置している。8つの学部が存在し、約15000人の学生を擁している。学士課程は4年間で、法科大学院、修士課程、博士課程に進学し、より高度な専門教育を受けることも可能である。学内には複合スポーツ施設、カフェ・食堂などがある。学生寮は1200名が収容でき、ロシア国内出身の学生と外国人留学生在が居住している。

3. 留学の目的

この留学の目的は二つある。一つ目は、ロシアについての理解を深めることである。日本とロシアは近い距離にあるにもかかわらず、日本人はロシアがどのような国か、ロシアにはどのような人々が住んでいるのかということに対する理解が低いと感じている。自身もその例外ではない。だから自らがロシアに留学し、ロシアをよく知らない人々にロシアとはいかなる国か紹介できるよう知識をつけ、ロシアと日本間の相互理解に貢献したいと考えた。それが第一の理由である。

二つ目は、ロシア人のジェンダーについての意識を知ることである。私はジェンダーに関する問題について興味があり、以前、ロシアに関する講義内で「ロシアは名目上ではあるものの、ソ連時代に既に男女平等を達成している」ということを知った。名目上だとしても、これは日本が男女格差の問題に着手するよりもかなり早期である。そこからロシアはジェンダー意識に関して日本よりも進歩していると考え、ロシアの人々が異性に対してどのように接し、ジェンダー問題に関してどのような意識を持っているか知りたいと考えた。以上が第二の理由である。

4. 留学内容

①授業のスケジュールと詳細

現地に到着して三日後の8月31日、ロシア語の習熟度を判別するためのテストが実施された。それにより日本人留學生は5グループと6グループの二つに分けられ、その後に異

なるスケジュールで授業を受けることとなった。以下には自身が振り分けられた6グループの授業スケジュールを記載する。

～授業スケジュール～

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|--------------------------|------|------|------|------|------|
| 8:30～ 10:00 | 聞き取り | 会話表現 | 会話表現 | 文法 | 文法 |
| 10:10～ 11:40 | 文章読解 | 文章表現 | 文章読解 | 会話表現 | 聞き取り |
| 11:50～ 13:20 (昼休み) | | | | | |
| 13:30～ 15:00 | 地理 | 芸術 | | 音楽 | 歴史 |

～各授業の詳細～

・聞き取り

CDを使用して文字の発音、単語の発音、会話文の聞き取りなどをする。

・文章読解

テキストを使用して文章を読解する。

・地理

極東ロシアの地理を中心にロシアの地理を学ぶ。

・会話表現

日常的な会話表現やイディオムなどを学ぶ。

・芸術

ロシアの民芸品や芸術家などについて学ぶ。またほぼ毎回、絵や手芸などの作品を作る。

・文法

格変化を中心にロシア語の文法を学ぶ。

・音楽

ロシアの民族楽器を学ぶ。またロシアの歌をジャンル・年代を問わず聴き、歌う。

・歴史

ロシア史上の主要人物を中心にロシアの歴史を学ぶ。

②留学先での主要なイベント

留学中、修学先の講師の方々のはからいで様々なイベントに参加することができた。以下は、私が体験した主要なイベントや出来事の一覧である。

主要イベント・出来事

| 日時 | イベント |
|-----------|-----------------|
| 8月28日 | ウラジオストク到着 入寮 |
| 8月29日 | 事務手続き |
| 8月30日 | 身体検査 |
| 8月31日 | クラス分けテスト |
| 9月15日 | *マヤーク観光 |
| 9月27日 | 美術館観光 |
| 9月29日 | *虎の日 |
| 10月6日 | サーカス鑑賞 |
| 10月24日 | ロシア人学生と街を観光 |
| 10月31日 | ハロウィン |
| 11月10日 | バレエ鑑賞 |
| 11月12日 | ジャズコンサート鑑賞 |
| 11月16日 | クラシックコンサート鑑賞 |
| 11月17日 | *日本フェスティバル |
| 11月24日 | クラシックコンサート鑑賞 |
| 12月13～14日 | テスト |

※「*」がついているものについては付録を参照

5. 留学目的の達成度

一つ目の目的である「ロシアについての理解を深める」であるが、これは満足がいく程度に達成できた。まず、地理や芸術、歴史などの授業を通してロシアに関する知識を蓄えることができた。また、ロシア人との触れ合いを通じ、ロシアの多民族性や人となりについて理解を深めることができた。

二つ目の目的である「ロシア人のジェンダーについての意識を知ること」であるが、これはあまり達成できたとはいえない。原因として言語の壁により、ジェンダーという繊細な問題について話し合えるほど深い関係性を築くことができなかったということが挙げられる。

6. 留学の反省点

反省点として、留学前のロシア語学習の不足が挙げられる。留学前に基本的な語彙や知識を増やしておけば、授業により早く順応できたのではないかと思う。そして、ロシア人とより深くコミュニケーションがとれたのではないかとも考える。

謝辞

今回、私たちを受け入れてくださったウラジオストク国立経済大学の職員の方々、講師の方々、そして留学前や留学中、私たちのサポートをしてくださった神長英輔先生、アレクサンドル・プラーソル先生に心より感謝いたします。最後に、奨学金をはじめとして様々な援助をしてくださった国際情報大学に感謝に深く感謝を申し上げます。

付録

～マヤーク観光～

マヤークとはウラジオストクのルースキー島にある著名な観光名所であり、「灯台」という意味である。干潮時にのみ海面から小道が出現し、側まで近づくことができる。



～虎の日～

虎の日とは、虎の保護を呼びかけるという目的のもと、参加者がオレンジ色のコスチュームを着用し街を行進するというイベントである。参加者は小学校、海軍学校、医療大学、地元の企業など、いろいろな団体が参加していた。もちろん、留学先であるウラジオストク国立経済大学も参加した。



～日本フェスティバル～

日本製品の物産展や、日本の文化に関連した催し物が開催されていた。例えば、日本の菓子・小物コーナー、日本食・日本酒販売、日本のおもちゃ・習字体験、秋田犬の観覧コーナーなどがあった。特に盛り上がりを見せたのはコスプレ大会であった。アニメキャラクターに扮した参加者が、ステージ上でパフォーマンスをするというものであった。多数の参加者があり、客席は満席で立ち見が出るほどの盛況ぶりをみせていた。

